

訂正

川崎市総合防災訓練を実施します

令和6年8月29日 17時00分現在

台風10号の接近に伴い、

川崎市総合防災訓練を中止します。

～災害時のトイレ対策に重点～

危機管理本部危機対策部 訓練担当 小田
電話：044-200-3139

市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を行える体制の強化を目的に、川崎市総合防災訓練（第45回九都県市合同防災訓練）を9月1日（日）に麻生区で実施します。

川崎市直下で大地震が発生した想定のもと、自主防災組織の活動や専門機関による救出救助、ライフライン復旧、避難所の開設運営・医療等の訓練を行います。今回は、女性、要配慮者、ペット同行避難等に関する内容に加え、災害時の生活を大きく左右するトイレ対策関連のプログラムに重点を置き、水洗トイレが使えない段階で大きな役割を果たす携帯トイレの使い方等を市民に知っていただく内容とします。

1 日時

令和6年9月1日（日）午前9時から午後0時半頃まで

※荒天の場合、規模縮小または中止

2 訓練想定

川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3、最大震度7の地震が発生。市内では200件以上の火災が発生し、2万棟を超える家屋が全壊したほか、各種ライフラインにも大きな被害が発生している。

3 会場

◆市立柿生小学校（麻生区片平3-3-1）

時間帯：午前9時から正午まで

主な内容：自主防災組織による初動対応訓練、避難所開設・運営訓練、災害時のトイレ対策、避難所医療訓練、啓発ブース等

◆麻生水処理センター あさおふれあいの広場（麻生区上麻生6-15-1）

時間帯：午前10時45分から正午まで（終了後、閉会式を実施）

主な内容：道路啓開訓練、救出救助訓練、DMAT医療訓練、一斉放水訓練、ライフライン復旧訓練

4 主な訓練参加予定機関等（詳細は別紙参照）

訓練参加予定人数 約500人

市民団体、民間企業等 約30団体

国、県の機関 2機関

5 その他

（1）車で取材にお越しになる場合は、麻生水処理センター会場の駐車証を発行しますので、8月26日（月）までに御連絡ください。（柿生小学校会場には駐車場がありません。麻生水処理センター会場駐車場から徒歩またはシャトルバスでの移動となります。）

（2）荒天時の開催判断については、当日朝7時からテレホンサービスでお知らせします。

0120-910-174（無料）※携帯電話からはかけられません。携帯電話からは、044-245-8870（有料）

（3）訓練の一環として、当日午前には消防局防災ヘリコプターが麻生区上空を飛行する予定です。



消防による救出救助訓練の状況（令和5年度）

【問合せ先】川崎市危機管理本部

危機対策部訓練担当 小田

電話：044-200-3139

令和6年度川崎市総合防災訓練
主な訓練内容（予定）

◆市立柿生小学校（9:00～12:00）

訓練概要	主な構成メンバー
自主防災組織による初動対応訓練 発災直後の住民・自主防災組織による共助の活動として、家屋に閉じ込められた人の救出や初期消火活動を実施する。	・麻生区自主防災組織連絡協議会 ・麻生消防団
避難所開設訓練 アリーナ（体育館）の安全確認の後、必要なレイアウトを行い指定避難所を開設する。	・柿生小学校避難所運営会議
避難所運営訓練 大地震発生から3日経った避難所における様々な場面に応じた訓練を実施する。 【重要な視点】 ・トイレ対策 ・女性の視点 ・要配慮者への対応 ・ペット同行避難 ・熱中症対策	・柿生小学校避難所運営会議 ・麻生区自主防災組織連絡協議会 ・一般社団法人川崎市助産師会 ・川崎市男女共同参画センター ・Linkmama ・ペットとぼうさい ・株式会社富士通ゼネラル 【川崎市】 ・区本部（事務局、情報広報班、被災者支援班） ・環境局 ・上下水道局 ・危機管理本部
区本部訓練 救援物資、保健・福祉関係等について、避難所との情報伝達を実施する。	【川崎市】 ・区本部（事務局、情報広報班、保健衛生・福祉班）
避難所医療訓練・二次避難所移送訓練 大地震発生から3日経った避難所において、容態の悪い避難者を、保健医療調整本部の調整のもと、医療チームによる診察を実施する。また、特別に配慮が必要な避難者については、災害福祉調整本部の調整のもと、福祉チームによる心身の状態の把握を行い、二次避難所への移送を実施する。	・公益社団法人川崎市医師会 ・公益社団法人川崎市歯科医師会 ・公益社団法人川崎市看護協会 ・公益社団法人川崎市薬剤師会 ・公益社団法人柔道整復師会 ・一般社団法人川崎市助産師会 ・神奈川 DWAT（神奈川県災害派遣福祉チーム） ・川崎地区ケア輸送連絡会 ・社会福祉法人一廣会特別養護老人ホームかないばら苑 【川崎市】 ・区本部（保健衛生・福祉班） ・健康福祉局
救援物資緊急輸送訓練（受入） 救援物資を避難所で受け入れる訓練を実施する。	・一般社団法人神奈川県トラック協会川崎サービスセンター ・赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部

	【川崎市】 ・区本部（被災者支援班）
燃料補給訓練 区本部からの要請を受け、協定締結団体の協力を得て、避難所の非常用電源の燃料（灯油）及び炊出し用の燃料（LP ガス）の補給を行う。	・神奈川県 LP ガス協会川崎北支部 ・神奈川県石油業協同組合川崎中央支部 【川崎市】 ・区本部（被災者支援班）
炊出し訓練 L P ガスの設備を利用し、市民による炊出しを行う。	・まごころキッチンプロジェクト
災害ボランティアセンター運営訓練 「区災害ボランティアセンター運営訓練」「川崎市災害ボランティア支援センター運営訓練」等を実施する。	・社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 ・公益財団法人かわさき市民活動センター

★この他、関係機関・団体によるデモンストレーション・啓発を実施。

◆ 麻生水处理センター あさおふれあいの広場（１０：４５～１２：００）

訓練概要	主な構成メンバー
情報収集・道路啓開・緊急交通路確保訓練 上空及び地上における情報収集、がれき等の除去により緊急交通路を確保する訓練を実施する。 救出救助訓練 建物損壊などの被害がある中で、建物内からの救出活動など、関係機関が連携して訓練を実施する。 一斉放水訓練 余震により出火した建物に対し、一斉放水による消火訓練を実施する。	・神奈川県警察（危機管理対策課、第二機動隊、麻生警察署） ・陸上自衛隊 ３１ 普通科連隊 ・麻生消防団 ・麻生総合病院 ・日本赤十字神奈川県支部 ・川崎 DMAT（日本医科大学武蔵小杉病院） ・川崎 DMAT（聖マリアンナ医科大学病院） ・川崎建設業協会麻生特設作業隊 【川崎市】 ・区本部（道路公園班） ・消防局（麻生消防署） ・健康福祉局 ・川崎 DMAT（川崎市立川崎病院） ・日本 DMAT（川崎市立井田病院） ・日本 DMAT（川崎市立多摩病院）
ライフライン復旧訓練 災害時における各企業の応急・復旧活動の実働訓練を実施する。	・川崎市管工事業協同組合 ・東京ガスネットワーク株式会社 神奈川導管ネットワークセンター ・NTT 東日本 川崎支店 ・東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社 【川崎市】 ・上下水道局